

科目名	心理学基礎実験Ⅱ					単位	2.0
担当教員	高橋 彩						
授業形態	実技・実習	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	5604

●授業のテーマ

実験という方法論を通して、心理学の基礎を学ぶ

●到達目標

行動の科学としての心理学の特徴を理解し、実験の方法論や結果の処理法について体験的に理解する。

●学習内容(授業概要)

人間の行動・心を解明しようとする際に、実験という方法をとる。心理学基礎実験では、心理学の幅広い分野（認知・行動、発達・教育、人格・臨床、社会・産業）から選抜された基礎的な心理現象についての実験的探索を行う。それらの実験を通して、心理学の実験の方法論や、データの扱い方についての基礎を学んでいく。

[キーワード] 心理現象 研究法 データ処理

●学習内容(授業計画)

以下に示すような、5つのテーマの実験を行う。学生は4グループに分かれ、それぞれのグループに対し、1名の教員が担当、指導する。3週間ごとにテーマを変えて実験に取り組み、そのテーマごとに実験レポートを提出する。

- a: 視覚探索
- b: 情報の伝達と変容
- c: ストループ効果による認知的葛藤
- d: 個別式知能検査
- e: 態度測定

●準備学習・事後学習の内容

実験の内容・手順について、予め頭に入れて実験に臨むこと。また、実験後はデータの取り扱いについて、指示された作業を行っておくこと。

●成績評価方法・基準

5つのテーマの実験レポートによる評価を基本とするが、欠席・遅刻はマイナスの評価として厳格に加味する。

●テキスト(必携)

各テーマごとに実験マニュアルなど、必要なプリントを配付する。

●参考文献/その他

講義中に紹介する。

●履修上の注意

レポートをまとめるだけでなく、実際に実験に参加することが重要である。よって、欠席は極力しないように。